

### (3) 大宮医師会の産業医会の活動報告

大宮医師会会長 松本 雅彦

○相澤委員長（司会） それでは次に、活動報告の最後になりますが、「大宮医師会の産業医会の活動報告」につきまして、埼玉県医師会の会場から大宮医師会の松本雅彦会長をお願いいたします。

○松本会長 皆さん、こんにちは。大宮医師会会長、大宮医師会産業医会会長の松本雅彦です。このような全国協議会に発言の機会を与您いただき、ありがとうございます。

自己紹介をさせていただきます。平成5年にさいたま市北区で内科、小児科を開業いたしました。平成30年より、松本吉郎先生の後を継いで、大宮医師会会長に就任しました。大宮医師会産業医会会長には10年前より就任しています。また、埼玉県医師会では産業保健委員会委員長をしております。

それでは、大宮医師会産業医会の活動について報告をさせていただきます。【資料6-1】



大宮医師会は、さいたま市の旧大宮市域で医療に携わっている医師が会員になっています。旧大宮市は、古くは氷川神社の門前町、中山道の宿場町として栄え、現在も県下随一の商業地域として発展しています。大宮という地名も、この氷川神社を大いなる宮とたたえたことに由来すると言われていています。2001年に旧大宮市は旧浦和市、旧与野市と合併し、さいたま市となりました。2003年に政令指定都市に移行し、2005年には旧岩槻市が編入され、現在に至っています。さいたま市の中で旧大宮市域には、西区、北区、大宮区、見沼区があります。令和2年5月1日現在のさいたま市の人口は132万453人で、旧大宮市の4区を合わせた人口は52万3773名です。また、さいたま市には、

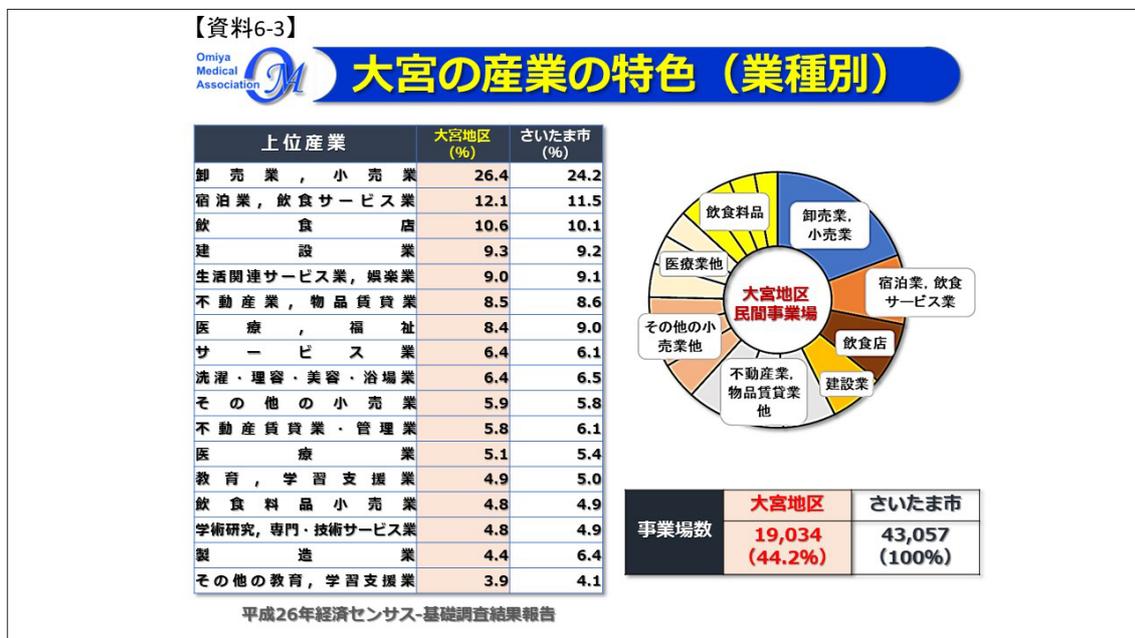
大宮医師会のほかにそれぞれ浦和医師会、さいたま市与野医師会、岩槻医師会があり、さいたま市4医師会連絡協議会を設置しています。

大宮は、東京と北関東、東北、信越、北陸地方を結ぶ新幹線と在来線合計16路線が乗り入れる、全国有数の巨大ターミナル駅を持つ鉄道のまちとして知られています。

観光名所には、氷川神社のほかに大宮公園、盆栽村、盆栽博物館、鉄道博物館などがあり、2020年の住みたいまちランキングでは4位に入っています。【資料6-2】

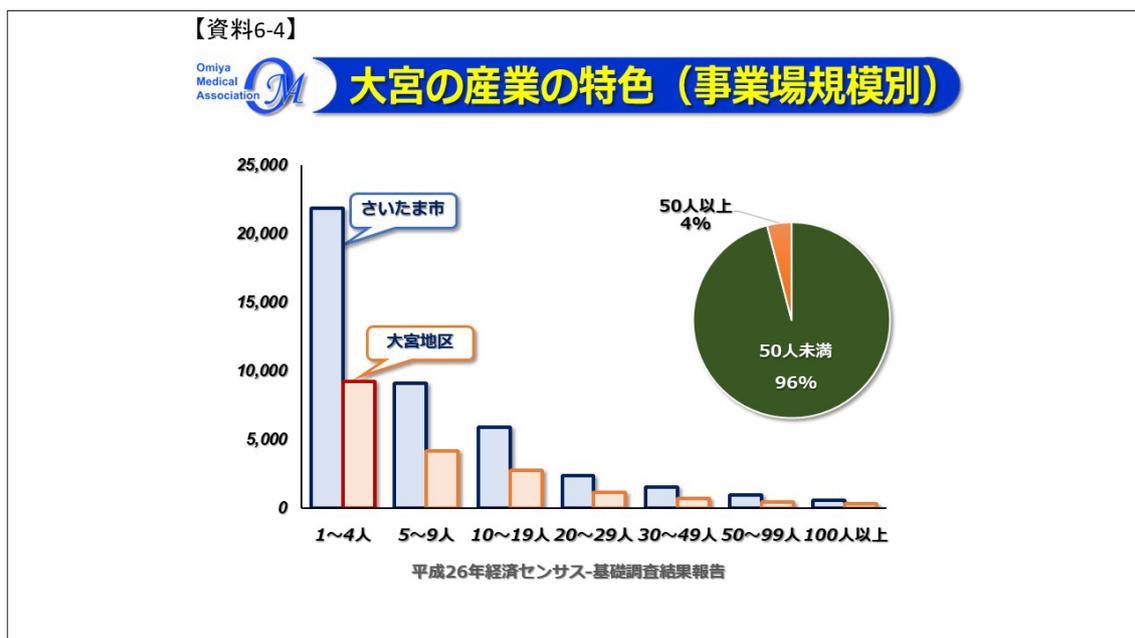


次の資料は、旧大宮市域の産業の業種割合です。【資料6-3】

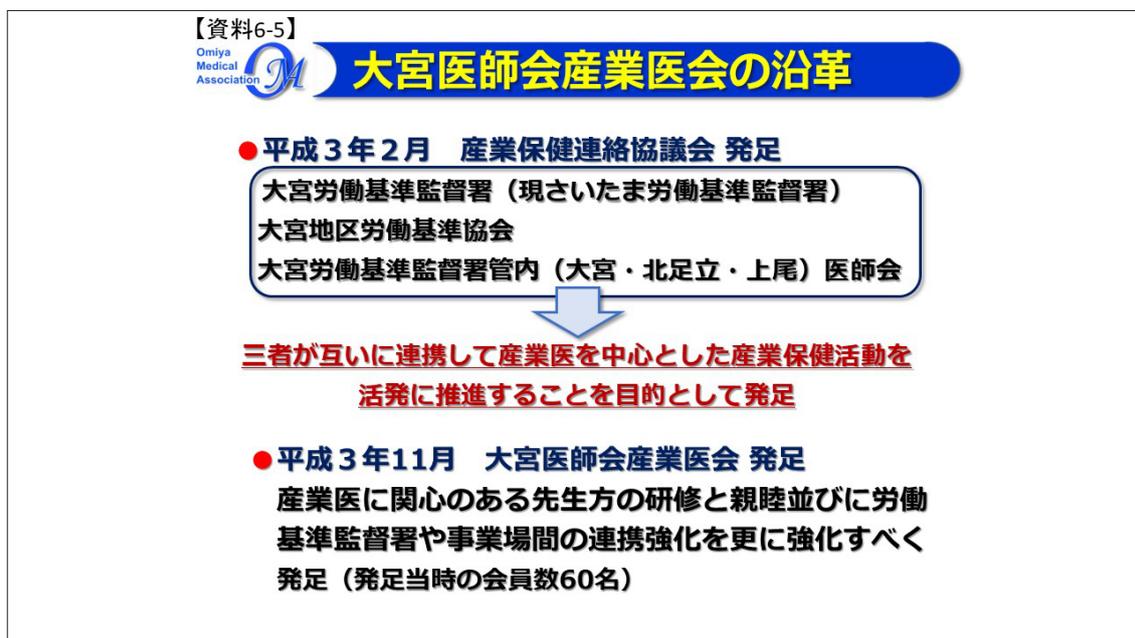


大宮の産業の特色としては、商都として栄えてきたこともあり、卸売業や小売業、宿泊業、飲食サービス業、飲食店などの商業、飲食業が多いことが挙げられます。事業場数は1万9034で、さいたま市の事業場の44.2%を占めます。事業場の規模別では、従

業員数50人未満の事業場が96%を占め、産業医の選任義務のある従業員50人以上の事業場は4%で、数としては700から800事業場です。【資料6-4】



大宮医師会産業医会は、以下医会と略しますが、平成3年11月に、産業医に関心のある先生方の研修と親睦並びに労働基準監督署や事業場間の連携強化を目的に、会員数60名で発足しました。【資料6-5】

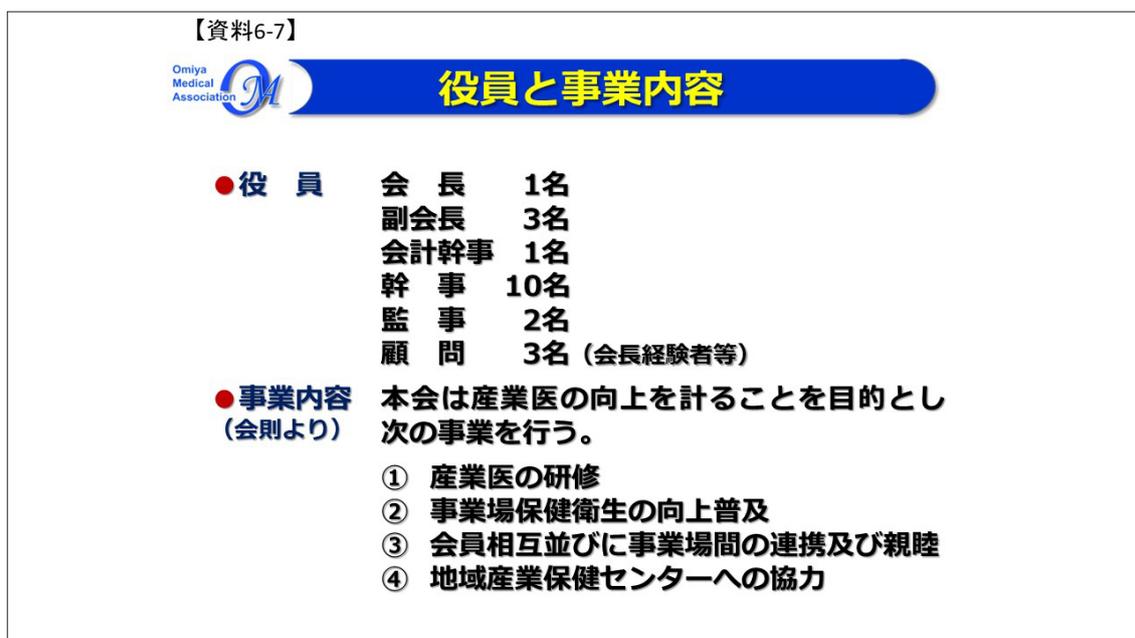


大宮医師会内の令和2年5月1日現在の各医会の会員数を示します。大宮医師会では、正会員、準会員にかかわらず、いずれかの医会に1つ以上入会することを内規で定めています。大宮医師会全体の会員数は671名、産業医会の会員数は141名で、医師会に占める割合は21%、内訳は正会員100名、準会員41名です。男女比は9対1で、全国アンケートと比較すると女性の割合が少ないのが現状です。会員数から見ると、医師会内

では2番目に大きな医会となっています。【資料6-6】



この資料は医会の役員構成と事業内容です。【資料6-7】



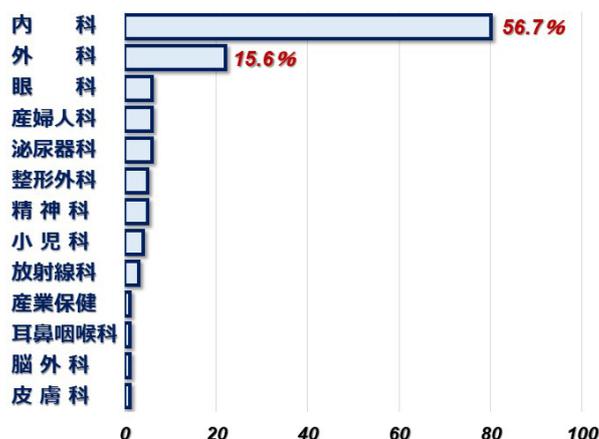
現在の役員は、会長1名、副会長3名、会計幹事1名、幹事10名、監事2名、顧問3名で、監事、顧問の定員は特に定めていません。医会が行う事業には、会則に定められた産業医の向上を図ることを目的として、産業医の研修、事業場の保健衛生の向上・普及、会員相互並びに事業場間の連携及び親睦、地域産業保健センターへの協力があります。

次は医会に所属する会員の診療科目です。内科が56.7%と最も多く、次いで外科が15.6%となっています。埼玉県医師会が行ったアンケート結果と比較しても、内科、外科の割合には大きな違いはありませんが、整形外科に関しては、県医師会のアンケートでは3番目に多い科だったのに対し、当医会ではそれほど多くありません。【資料6-8】

【資料6-8】



## 会員の診療科目

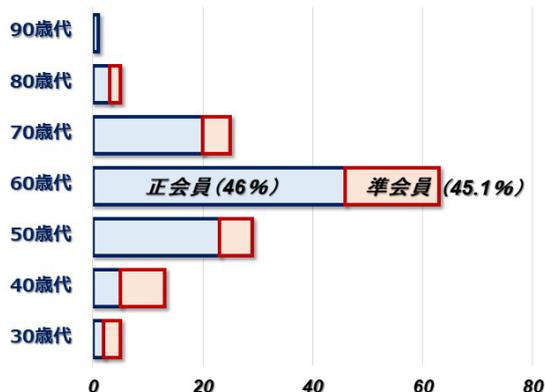


会員の年齢構成ですが、正会員と準会員を合わせた構成は、60歳代が最も多く、突出しています。【資料6-9】

【資料6-9】



## 会員の年齢構成



次に多いのが50歳代で、あと、70歳代と続きます。産業医もやや高齢化してきているという印象です。準会員に限りますと、やはり60歳代が最も多いのは変わりありませんが、次に多いのが40歳代で、若い先生も多いのが特徴と思います。これからの医会は、40歳代、50歳代の先生に担っていただきたいと思います。

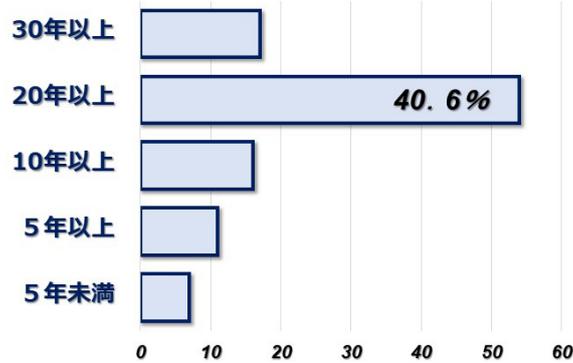
会員の産業医歴は、20年以上のベテランが多く、30年以上産業医をやっておられる先生もかなりいます。

産業医歴10年以上の会員の割合は65%で、経験を積んだ産業医が多く在籍している医会であり、このため、当医会は事業場からの依頼に十分応えられると思っています。【資料6-10】

【資料6-10】



## 会員の産業医歴



一方、産業医歴5年未満の先生も在籍していますので、研修会を通じて勉強していただき、会員間の親睦を深めて、気軽にベテランの先生に質問や相談ができる環境を整えるようにしています。

次は、医会が行っている事業内容を示します。【資料6-11】

まず、年度始めの役員会で総会の打合せ、産業医研修会の日程調整、講師選定などを話し合います。総会では、役員が前年度事業報告と決算説明、次年度の事業計画と予算説明をし、会員の承認を得ます。産業医研修会は、埼玉県医師会と連携し、年に3回開催します。内容については後ほど説明いたします。事業場から依頼された産業医の選定も医会の主な事業の一つです。

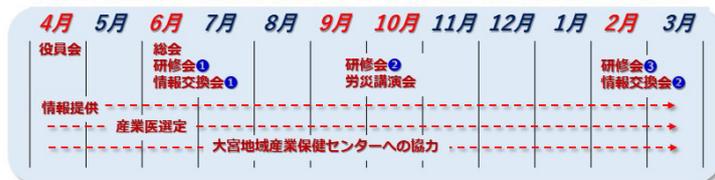
【資料6-11】



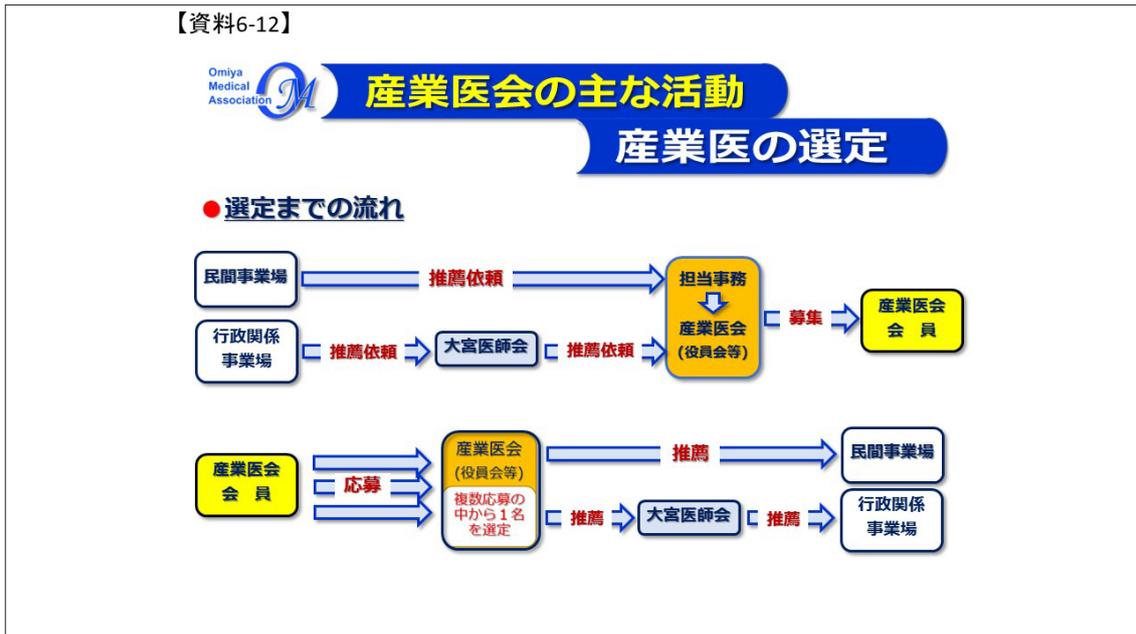
## 産業医会の主な事業

- ① 役員会の開催・・・1回/年
- ② 総会の開催・・・1回/年
- ③ 認定産業医研修会の開催・・・3回/年
- ④ 労災に関する講演会の開催・・・1回/年 ※1
- ⑤ 産業医選定
- ⑥ 情報交換会の開催・・・2回/年 ※2
- ⑦ 産業保健情報提供
- ⑧ 大宮地域産業保健センターへの協力
- ⑨ その他

※1 認定産業医研修会と兼ねての開催 ※2 認定産業医研修会に併せて開催

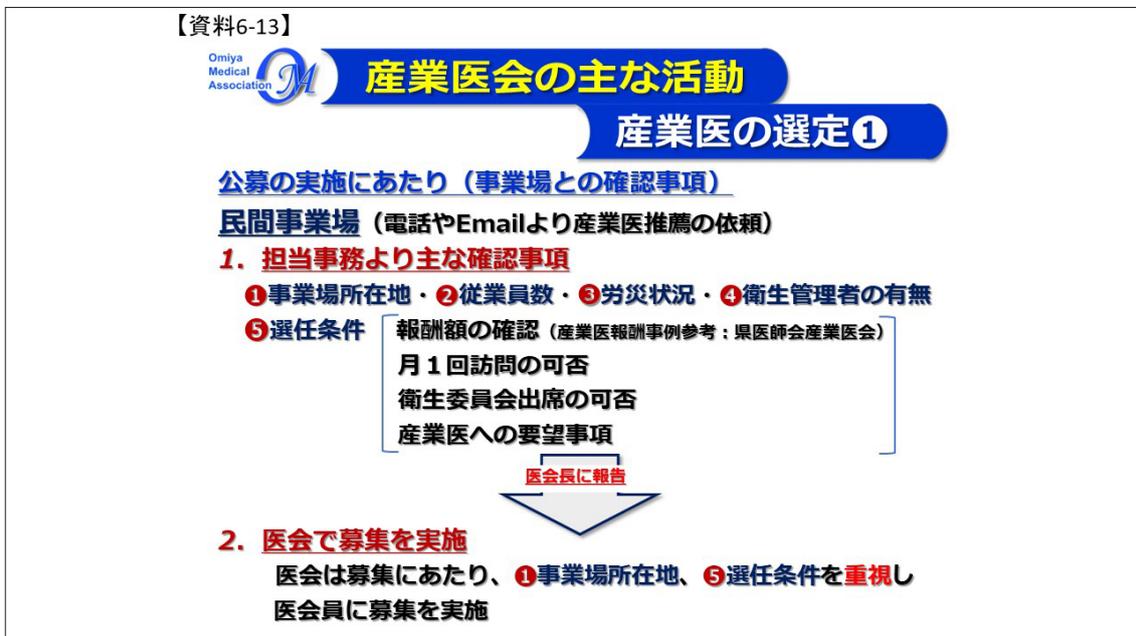


産業医の選定に当たっては二つの流れがあります。【資料 6-12】



一つは民間の事業場からで、事業場からの産業医推薦依頼は、医師会の産業医会担当事務が受け付けます。事務では依頼内容を役員に報告し、報告内容を基に会員に募集をかけます。応募された先生の中から産業医を選定する条件は次の資料で説明いたします。二つ目の流れは、行政からの区役所や清掃事務所などの行政関係事業場の健康管理医の推薦依頼で、これは医師会が受け付け、医会に推薦依頼が来ます。

次の資料は、産業医選定に当たっての確認事項と選任条件です。【資料 6-13】



依頼を受けた担当事務は、事業場より所在地、従業員数、労災状況、衛生管理者の有無、産業医の勤務条件などを聞き取り、医会に報告します。勤務条件には報酬額、訪問回数、訪問時間、衛生委員会への出席、職場巡視、健康相談の実施の有無などが含まれます。こ

これらの条件を受け入れる先生を、事業場の所在地などを勘案して募集します。

事業場の条件と応募された先生の要望が合致すれば、役員会で産業医を選任し、担当事務が事業場に推薦いたします。【資料 6-14】

【資料6-14】



## 産業医会の主な活動

### 産業医の選定②

**3. 医会で産業医を選定**  
 医会員からの応募に対し以下の基準を参考に選定

- ① 事業場所在地
- ② 従業員数
- ③ 選任条件
 

産業医への要望事項  
 月1回訪問の可否  
 衛生委員会出席の可否

↓  
1名の産業医を選定

**4. 担当事務より事業場に結果報告**  
 担当事務より産業医委嘱契約に必要な書類等を送付

事業場が医会から推薦された産業医と産業医契約を結ぶ合意ができたときは、契約に必要な契約書類等の書類一式を担当事務から事業場に送付します。このときの産業医嘱託契約書は、埼玉県医師会作成の産業医嘱託契約書を用います。

次の資料は、平成24年度からの医師会を通じた産業医選定の実績です。【資料 6-15】

【資料6-15】



## 産業医選定の実績

### 民間事業場選定（新規）

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 令和元年度
6	9	4	8	23	9	7	4

※ 県医師会契約書による実績

### 行政関係事業場選定（更新）

<b>埼玉県関係</b> 外郭団体：1カ所 県立学校：10校	<b>さいたま市関係</b> 区役所：4所 消防署：4署 清掃局：2所 水道局：2所 市立学校：9校	<b>その他</b> 警察関係：6カ所 私立学校：10校
--------------------------------------	---	------------------------------------

ここに示しますように、毎年新規の契約は10件以下ですが、平成28年度だけは23件と突出しています。これは、前年の平成27年12月にストレスチェック制度が開始されたことにより、今まで産業医を置いていなかった事業場が制度に対応するために産業医

を求めたことによるものです。埼玉県やさいたま市から選定を依頼される事業場の健康管理医は、資料のとおりです。行政関係は更新依頼がほとんどで、大部分の健康管理医は再任していただけますが、たまに退任される先生がいる場合は、行政より医師会に推薦依頼が来ます。警察関係の健康管理医の推薦依頼は医師会に来ますが、選定は産業医会ではなく、警察医会が行います。

医会の活動の一つとして、産業医研修会の開催があります。【資料6-16】

研修会は、埼玉県医師会産業医会の援助を受けて、年3回開催します。3回の研修会は、更新、専門、実地に沿った内容にしており、本会の特徴となっています。

1回目は更新研修で、埼玉労働局健康安全課長またはさいたま労働基準監督署長より、労働衛生に関する通達や事例を踏まえて、最近の労働者を取り巻く環境について講演していただきます。2回目は専門研修で、労働衛生工学専門員などにより、労災に関する研修を兼ねて開催しています。3回目は実地研修で、精神科医会との共催により、職場のメンタルヘル스에詳しい精神科医等に講演していただきます。メンタルヘルス研修では、事例検討を中心に、PTSD、労災認定を受けた症例、発達障害を持つ社員への対応等、幅広く話を聞くことができます。

【資料6-16】



## 産業医会の主な活動

### 産業医研修会の開催

大宮医師会産業医会では、年3回（毎年）日医認定産業医研修会を開催している。3回の内訳は、**更新・専門・実地**にそった研修会の開催を本会の特徴としており、会員にも周知されている。

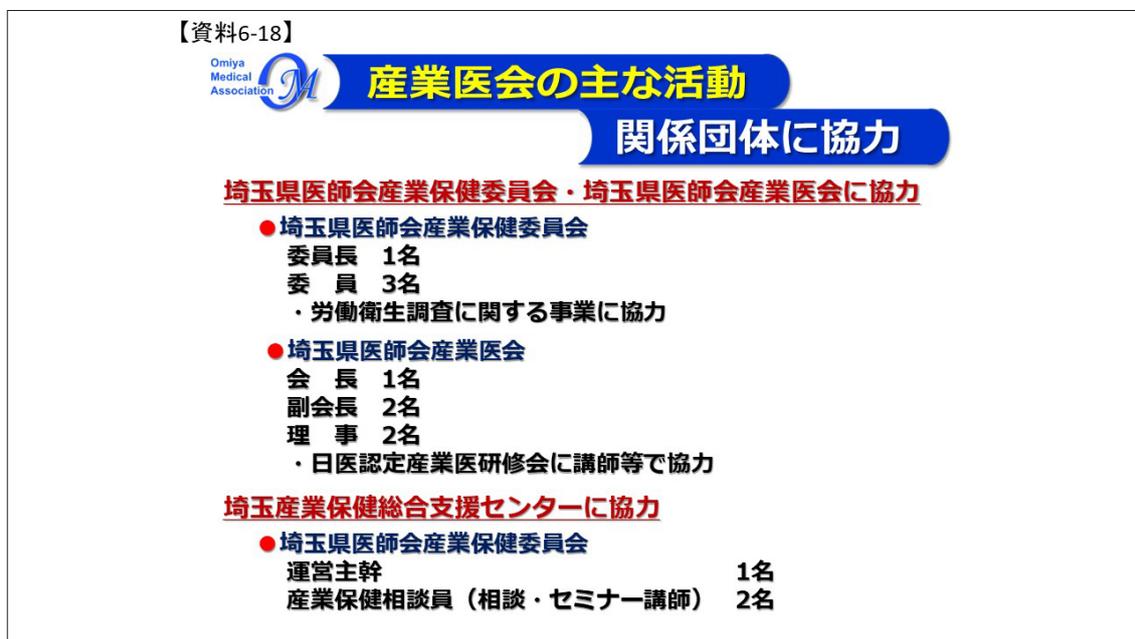
- **第1回目（更新）**：（労働局・監督署）の課長または署長より、通達・事例を踏まえて、最近の労働者を取り巻く環境に関する研修会を開催
- **第2回目（専門）**：労働衛生工学専門員等より労災に関する講演会を兼ねて開催
- **第3回目（実地）**：精神科医会との共催により、メンタルヘル스에精通する専門医による研修会を開催

産業医会には、地域産業保健センターを支援するという役割もあります。【資料 6-17】



大宮地域産業保健センターの地域代表には、従来から医師会長が就任し、医会が支援するという形を取っています。前任の医師会長の松本吉郎先生も私も医会員であるため、よりスムーズにセンターの運営ができています。また、医会副会長3人のうちの1人が地域運営主幹に、運営委員には幹事が就任しています。さらに、多くの医会員は、登録産業医としてセンターが担っている相談業務に当たってもらっています。

また、埼玉県の産業医関係団体に対しても力を入れて協力しています。【資料 6-18】



埼玉県医師会産業保健委員会では、委員長に医会から医会長の私が、委員には医会から3名が就任しています。

埼玉県医師会産業医会では、会長1名、副会長2名、理事2名に大宮医師会産業医会員が就任し、会長には松本吉郎先生が、副会長には私が就任しています。埼玉産業保健総合

支援センターについては、私が運営主幹として、産業保健相談員として2名の医会員が協力しています。

医会ではさまざまな機会に活動内容を積極的に公表・発表するようにしています。資料で平成31年に医会員が発表した活動内容を示します。【資料6-19】

【資料6-19】

 **産業医会の主な活動**  
**医学会総会に発表**

**埼玉県医学会総会（第56回）** 平成31年2月24日

- 埼玉県における治療と職業生活の両立支援に関する取り組み
- 小規模事業場での長時間労働者の実態及び傾向について  
-大宮地域産業保健センターで実施した長時間労働者への面接結果から-
- 平成30年度の埼玉県労働調査「産業医研修会に関するアンケート」結果

**大宮医学会総会（第53回）** 平成31年3月9日

- 平成30年度大宮地域産業保健センター事業報告

埼玉県医学会総会では、3名の医会員がここにありますような演題名で発表しました。大宮医学会総会においても、医会員が地域産業保健センターの事業を報告させていただきました。医会では、このような場で定期的に医会の事業内容や実績を報告させていただいています。

ご清聴ありがとうございました。

○相澤委員長（司会） 松本雅彦会長、どうもありがとうございました。郡市区医師会を代表してお話を頂きました。平成3年から産業保健連絡協議会と産業医会を並立してご活躍ということでございます。また、産業医の選定、マッチングも積極的にされるということで、感銘を受けました。民間と、それから行政、両方やっておられること、それから、研修会を年3回もやっておられるということも大変特記すべきことだと思います。

それでは、どうもありがとうございました。